



臨床腫瘍センターだより



第3号(2008年7月8日)

新設部門について

6月より、臨床腫瘍センターは化学療法部門、緩和ケア部門に加え、小児腫瘍部門、放射線治療部門が新設されました。緩和ケア部門長に麻酔科の佐藤薫先生、放射線治療部門長に放射線科の佐藤久志先生、小児腫瘍部門長に当センター次長の菊田敦先生が就任されました。また、化学療法部門長には当センター長の石田が兼任し、各部門が協力し合って診療科の横断的ながん治療を目指して活動していきたいと思っておりますので皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い致します。



化学療法部門よりミニレクチャー

外来癌化学療法における皮下埋込型中心静脈ポートの有用性について

乳腺・内分泌・甲状腺外科 大竹 徹

外来癌化学療法では、回数を重ねると末梢血管の確保が困難となる症例も少なくありません。壊死性抗癌剤の血管外漏出は時に難治性となり患者に苦痛を与えます。また、中心静脈カテーテル留置例では入浴時のドレッシング装着が必要であり、接触性皮膚炎やカテーテル感染などのトラブルが増加します。

こうした問題を解決する皮下埋込型中心静脈ポート（以下CVポート）について概説します。

1. CVポートの埋込部位

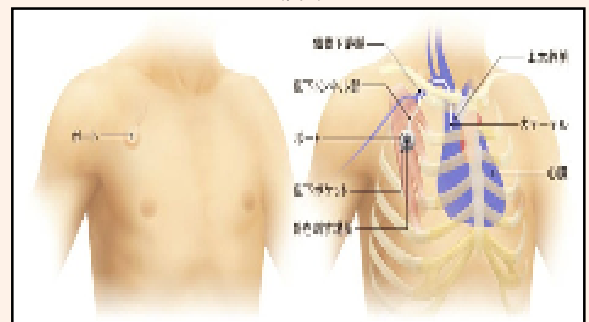
当院では前胸部か前腕部がほとんどです。

	利点	欠点
前胸部ポート	点滴針の留置が安定し、点滴中の自由度が増し安静を保つ必要がなくなる	カテーテル穿刺時の血胸や気胸発生のリスクがある
前腕部ポート	カテーテル穿刺時の合併症は少ない	肘関節屈曲時の薬剤滴下不良やカテーテル塞栓などの合併症がある

2. CVポート留置の実際

処置は30分前後で1泊の入院か日帰りで行います。前胸部にCVポートを留置する場合は、局所麻酔下に3~4cm皮膚を切開し、鎖骨の下を走る鎖骨下静脈から中心静脈にカテーテルを挿入します(図1参照)。前腕部に留置する場合には肘付近の皮静脈よりカテーテルを中心静脈まで挿入します。カテーテルをCVポートと接続し、皮膚に埋没します。切開部を縫合して約1週間後に抜糸します。CVポートは通常留置した当日から使用できます。

(図1)



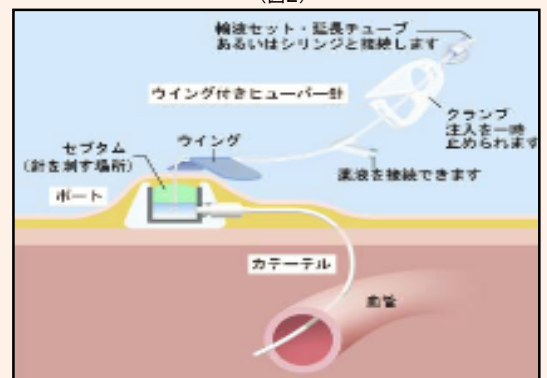
3. CVポートの利点 (図2参照)

- ①皮膚の上から専用の針をポートに穿刺するだけで確実に薬剤を静脈内に投与できる
- ②血管外漏出のリスクが少なく、末梢静脈投与のように安静を保つ必要がない
- ③使用しないときにも特別な処置や管理の必要がない
- ④多くのCVポート用カテーテルの材質は抗血栓性の高いシリコンやポリウレタンで先端に逆流防止弁がついており、ヘパリンロックは不要である(生食をフラッシュするだけでよい)

など

※前腕部ポートの場合はカテーテル径が細く逆流防止弁付きのポートシステムはないのでヘパリンロックが必要です。

(図2)



(図1、2とも著作権は国立がんセンターがん対策情報センターに帰属します。)

4. CVポートの合併症

- ①CVポート周囲やカテーテルの感染
- ②針のずれによる皮下への薬剤漏出
- ③カテーテル塞栓
- ④CVポートやカテーテルの破損による薬剤漏出
- ⑤カテーテル断裂
- ⑥カテーテル周囲への血栓やフィブリン付着
など

5. CVポートを用いた点滴中に注意すべきサイン

- ①悪寒を伴う発熱が急に出る
- ②CVポートが腫れる、痛む
- ③時間が経ったにもかかわらず点滴が落ちない
- ④CVポート留置側の上肢や頸部がむくむ

など、上記のようなサインは合併症が起きている可能性があります。

CVポートは注意点を理解すれば安全に留置できます。CVポートを埋め込んだまま仕事やスポーツもできるので、増加する外来癌化学療法患者により快適な点滴環境を提供できます。本法がさらに普及し、癌患者のQOL向上に寄与することが期待されます。

6月の外来化学療法室利用状況 利用者数 192名

(単位: 人)

消化器外科 I	36	消化器内科	24
消化器外科 II	15	婦人科	7
乳腺外科	56	泌尿器科	2
呼吸器科	26	血液内科	3
呼吸器外科	1	小児科	22
内分泌外科	0	合計	192



お知らせ

Cancer board開催案内

医療従事者を対象に、各臓器別に診療科横断的な腫瘍カンファランスを定期的で開催しております。医療従事者であればどなたでもご自由に参加できます。

頭頸部	7/14(月)	18時
悪性リンパ腫	7/16(水)	19時30分
消化管	7/24(木)	19時30分
小児	7/24(木)	19時
呼吸器	8/4(月)	19時

緩和ケア学習会開催案内

テーマ: 「一般病棟における
スピリチュアルペインのケア」
日時: 2008/7/8(火) 18時~19時
場所: 当院第二カンファランス室

※次回は8/12(火) 18時からです。
テーマは後日お知らせします。

一般の方、院内・院外の医療従事者の方が対象となります。緩和ケアに関心のある方は是非ご参加下さい。

臨床腫瘍セミナー開催案内

演題: 「がん診療連携拠点病院における
がん看護専門看護師の役割」

講師: 石巻赤十字病院 看護副部長
がん看護専門看護師 菅原よしえ先生

日時: 2008/7/15(火) 18時~19時
場所: 第二臨床講義室

※大学院生は共通必修科目(規定の8)に該当します。

※これまでに開催されたセミナーのDVDを貸出します。
ご希望の方は内線3160(阪場)までご連絡下さい。

掲示板

6月より外来化学療法は全面的にレジメンシステムを利用することになりました。利用にあたり、各診療科よりプロトコルの登録が必要となります。電子カルテ(腫瘍センターからのお知らせ)にプロトコル登録の流れや登録票が掲載されておりますのでご確認ください。

